

ネイティブ大腸菌L-アルギニン脱炭酸酵素

Cat. No. NATE-0033

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 酵素学において、アルギニン脱炭酸酵素(EC 4.1.1.19) は、化学反□を触媒する酵素です:

L-アルギニン ↔ アグマチン + CO2。したがって、この酵素は1つの基質、L-アルギニンと2つの生成物、アグマチンおよびCO2を持っています。この酵素は、炭素-炭素結合を切断するカルボキシライザーに特に属するライターゼのファミリーに属します。1つの補因子、ピリドキ

サールリン酸を使用します。

別名 アルギニン脱炭酸酵素; EC 4.1.1.19; 9024-77-5; SpeA; L-アルギニンカルボキシラーゼ; L-

アルギニン脱炭酸酵素; ADC

製品情報

由来 大腸菌

EC番号 EC 4.1.1.19

CAS登□番号 9024-77-5

活性 5-15 ユニット/ mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 5.2の条件下でL-アルギニンから1分あたり1.0 μ モルのCO2を放出

します。

保管・発送情報

保存方法 −20°C